

# 公式訪問と地区大会について、 12月の重点分野は『疾病予防と治療』

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 志村 雄治



11月15日までに合計52クラブ全ての公式訪問が終了しました。各クラブの会長・幹事を始めとする多くの皆様に暖かい歓迎を頂き、厚くお礼申し上げます。各クラブで「ウイズ・コロナ」の時代、ロータリーの再生に向けた活発な活動を考え、特に会員増強については、新しい試みを考えているクラブが多く、期待しております。

今年度の地区大会は、11月11日・12日に行われました。RI会長代理に井原 實様 (RI第2770地区・さいたま新都心RC・第1地域公共イメージコーディネーター)をお迎えし、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会や会員懇親会も行うことができました。また他地区からの同期ガバナーや令夫人を始めとした多くのお客様にもご参加頂き、3年ぶりにほぼ完全な形での地区大会を開催することが出来ました。

私がガバナーとして最も重要なことと考えるのは、世界中の子ども達が現在も将来も幸せに過ごすことです。そのために重要なのは、7つの重点分野の内「平和」と「環境」だと思います。そこで、1日目の会長幹事会ではプロ・ナチュラリストの佐々木洋様に「身近な生き物から学ぶ持続可能な社会」をテーマに講演をして頂きました。モンシロチョウ、ミツバチ等の生き物にも地球温暖化の影響があるとのことで、今後私たちが注意して見て行かなくてはならないし、ロータリーも様々な行動をしなくてはならないと思います。

2日目の午前中には、ロータリー平和フェロー学友5名による「平和」についてのフォーラムを行いました。ロータリー平和フェローの第1期生から第13期生の5人の方による、世界各地

での平和に向けての活動経験を踏まえた様々な協議は充実した内容でした。これからも世界中のいろいろな分野で活躍されることを期待しております。

2日目の午後は全会員を対象にした本会議を行いました。記念講演は、ミズノ株式会社相談役会長の水野正人様 (第2580地区パストガバナー)の「平和とスポーツ」をテーマにした素晴らしいお話でした。東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会副理事長・専務理事のご経験からスポーツ・特にオリンピックが「平和の祭典」であり、現在の「ウクライナ侵攻」の問題点、そしてその紛争解決に向けて、「教育」が大切であるとのお話に感動しました。

また、本会議の中で横浜金沢八景RCが行った「モンゴル国母子保健向上 Happy Birth & Happy Baby グローバル補助金プロジェクト」について、モンゴル共和国からモンゴル助産師会のセルダンバ・ダバスレン会長を始め6人の皆様が、謝辞と現況の報告をしてくださいました。これは、「母子の健康」と12月の「疾病予防と治療月間」にも繋がるものだと思います。

そして、今年は5年ぶりにガバナー表彰として「35年以上連続出席率100%会員表彰」を行いました。RIではメーキャップは1年以内で良いとされていますが、やはり出席は重要であると思います。今後地区としても考えていきたいです。本大会開催にあたり、ご協力、ご出席頂きました全ての皆様に感謝致します。